

平成29年度 茨城大学COC事業報告書

茨城と向き合い、地域の未来づくりに参画できる人材の育成

平成30年3月

茨 城 大 学

巻頭言 教育研究の成果で社会に一層貢献するために

本学は、「地域創生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色が輝く大学の構築」というビジョンを掲げて、社会の期待に応える取り組みを推進してきました。その一環として、急速に変化する社会で活躍できる人材の育成に向けて教育改革を進めています。昨年度の人文社会科学部の新設、教育学部・農学部と各大学院の改組に続き、今年4月には工学部・理工学研究科（工学系）を新たな5分野体制に再編成しました。さらに、AI・データサイエンスやリカレント教育など新しい社会的要請に対する教育研究への取り組みに取り組む計画です。

このように、2018年を本学の教育研究の成果が社会で一層輝く年にしたいと考えています。その重点的取り組みとして、学生が地域社会の課題に向き合い、課題解決に挑戦する実践的教育を一層進めたいと思います。「茨城学」や地域PBL（課題解決実践学習）を柱とするCOC事業は、そのための重要な取り組みです。地域や世界の問題の現場に出かけて、課題解決のために他分野の学生や地域の方々と協働することは、学生の大きな成長の機会になります。本年度も、こうしたCOC事業に取り組み、地域社会に貢献する活動を進めたいと考えていますので、皆様方のご協力をお願いいたします。



COC 統括機構 機構長（学長）

三村 信男

目 次

I	事業の概要と平成29年度の活動	1	
1	茨城大学COC事業の全体像	2	
2	平成29年度の活動	4	
II	地域課題等の共有	7	
	シンポジウム、FD・SDなど	8	
III	<教育>における事業展開	15	
1	地域志向教育	16	
2	「茨城学」と「5学部混合地域PBL」の 実施	19	
3	地域志向教育支援プロジェクト	27	
IV	<研究>における事業展開	54	
	地域課題解決型特定研究プロジェクト	55	
V	<社会貢献>における事業展開	68	
1	地域人材育成プロジェクト	69	
2	企画型地域人材育成事業	81	
3	ライブラリーカフェ	85	
VI	平成29年度事業評価	88	
VII	次年度に向けて	91	
	<table border="1"><tr><td>用 語 集</td></tr></table>	用 語 集	92
用 語 集			